

整理番号	HT25120	分野	医歯薬学・化学	(キーワード)薬、界面活性剤、製剤
------	---------	----	---------	-------------------

新潟薬科大学

使いやすい薬をつくるための「界面活性剤」の威力・不思議な力を体験しよう！

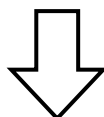
先生(代表者)	飯村 菜穂子(いいむら なほこ) 薬学部・准教授			
自己紹介	薬の有効成分を原末そのまま医療の現場で使うことはほとんどなく、様々な患者さんにあわせ、患者さんが飲みやすく、使いやすい「特別な形」(剤形:たとえば錠剤、カプセル剤、注射剤、軟膏剤など)にして使用されます。そのための技術について考える学問が製剤学です。現在、その領域において、患者さんが安心して使用でき、さらにあまり薬を使うことを負担に思わないような便利な薬をつくる技術の開発を行っています。そしてその新しい技術を使って新しい機能性をもつ医薬・化粧品材料の開発を行っています。			
開催日時・主な募集対象	平成25年7月21日(日)	(対象)	高校生 中学生	(人数) 36名
集合場所・時間	メディアキャンパス(新潟日報メディアシップ内)	(集合時間)	12:20	
開催会場(集合場所)	メディアキャンパス 住所:〒950-0088 新潟県新潟市中央区万代3-1-1 アクセスマップ: http://www.niigata-mediaship.jp/access/			
内 容				
<p>「界面活性剤」と聞くと、「洗剤でしょ！」って答える人は多いのではないのでしょうか。いえいえ、それだけではありません。私達の暮らしにもっと深く関わっている物質です。例えば、体を清潔することや料理を美味しくすることだってできます。そしてさらには薬をより良く効かせることができる等、その用途は広いのです。今回、薬をつくる、薬を効かせるときに大変重要な役割を果たす「界面活性剤」の知られざる威力を体験してみましょう。</p>				
スケジュール			持 ち 物	
12:20~12:40	受付			筆記用具 タオル
12:40~13:00	開講式、オリエンテーション、スタッフ紹介、スケジュール説明、科研費の説明、「ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ」の説明			
13:10~13:50	講義「薬をつくるための様々な工夫 -製剤化サイエンス-			特 記 事 項
14:00~15:40	実験「使いやすい薬をつくるための界面活性剤の威力・不思議な力を体験しよう！」			
15:40~16:10	クッキータイム、DVD 鑑賞会、実施者及び大学生との意見交換、交流			
16:10~16:30	修了式(未来博士号授与、アンケート記入、記念撮影)			
16:30	終了・解散			

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	新潟薬科大学 教育連携推進センター事務局・長越暁子
住所：	新潟県新潟市秋葉区東島 265 番地 1
TEL 番号：	0120-2189-50 0250-25-5385
FAX 番号：	0250-25-5021
E-mail：	edu@nupals.ac.jp
申込締切日：	平成 25 年 7 月 11 日(木) 締切後は大学にお問い合わせください。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
飯村菜穂子	H16-18	若手研究(B)	16750167	界面活性剤を利用した安全性の高い安定な色素沈着治療薬の開発
飯村菜穂子	H19-20	基盤研究(C)	19550187	皮膚疾患治療、アンチエイジング効果をもつ薬剤開発とその経皮吸収促進



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。